

World Tourism Update

Bimonthly Newsletter of Tourism Education & Research

WTU No.2 / 2013.7

UNWTO, WTTC —2 機関を中心とした観光教育、研究に関わる世界の情報—

Japan reasserts commitment to deeper cooperation with UNWTO

観光サステナビリティの公約改善、より観光を促進し、国際観光コミュニティとの関係深化のため、国土交通事務次官坂井学氏が UNWTO を訪問した（5 月 3 日）。坂井氏はすでに締結されている双方の関係について強調した上で、国際的視野を広げるための戦略的な取組についてアピールした。UNWTO は 1995 年から RSO（Regional Support Office for Asia and the Pacific）を運営し、東北震災後そのサポートは一層強化されている。それを受け、震災後の日本のインバウンド観光客数の 35% の増加、観光収入では 37% の増加など昨年度は傑出した回復高を記録しており、今後の取組が観光立国実現へのターニングポイントとなりそうだ。



<http://media.unwto.org/en/news/2013-05-27/japan-reasserts-commitment-deeper-cooperation-unwto>

（UNWTO ジア太平洋センター（奈良）で、2014 UNWTO 統計関連会議開催予定）

World Tourism Day 2013-Promoting Tourism's Role in Water Preservation

World Tourism Day とは、UNWTO が毎年 9/27 に開催している観光の社会・経済的影響力を考えるイベントである。今年度は「観光と水：私たちの未来を守る」をテーマに観光責任を強め、世界にとって必要不可欠な水質保護について検討する。また、今回は水に関わる論文コンテストも実施される予定である。清潔で利用可能な水資源は観光だけではなく、あらゆるビジネスや人々の生活にとっても必要不可欠である。さらに、「Wetland tourism」（海岸や湖等における観光）も増加を続け、最も人気のあるデスティネーションの一つとなっている。今、経済の主要な領域の一つとなった観光には、水質保全の牽引役となることが求められている。



<http://media.unwto.org/en/press-release/2013-06-03/world-tourism-day-2013-promoting-tourism-s-role-water-preservation>

<http://www.timeanddate.com/holidays/un/world-tourism-day>

http://dtxq4w60xqpw.cloudfront.net/sites/all/files/pdf/wtd_2013_essay_competition_info.pdf

Research and Journals —主な論文、特集号、新刊紹介—

Dark Tourism

ダークツーリズムとは、災害被災跡地、戦争跡地などのいわゆる負の遺産を観光対象として巡ることで人類が持つ悲しみを継承し、そこで亡くなった方々とともに悼む旅のことである。1996 年にグラスゴーカレドニアン大学の教授であるジョン・レノンとマルコム・フォーリーによって提唱された新しい観光の概念であり、虐殺のあったカンボジアのトゥール・スレン虐殺博物館、災害跡地であるウクライナのチェルノブイリ、ニューヨークのグラウンドゼロ、ポーランドのアウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所などがその対象とされている。日本ではまだこの概念は十分に知られていないが、先の戦争体験を持ち、自然災害も多いことから、平和記念公園（広島）、水俣病資料館（熊本）、北淡震災記念公園（淡路島）、人と防災未来センター（神戸）など、実は全国各地にダークツーリズムの有力な施設を擁しており、井出明（2012）は、今後この分野において独自の発信を行うことに成功すれば世界的に注目される可能性を秘めていると主張している。ぜひ、日本におけるダークツーリズムの進展と国内外の研究動向に注目してほしい。（執筆 出口竜也教授）

【参考文献】

- ・ Lennon, John and Foley, Malcom. 2001. Dark Tourism : the attraction of death and disaster, International Thomson Business Press.
- ・ Sharpley, Richard and Stone, Philip R. 2009. The Darker Side of Travel: The Theory and Practice of Dark Tourism, Channel View Publications Ltd.
- ・ 井出明 2012. 「日本におけるダークツーリズム研究の可能性」『進化経済学会論集』 No.16

「Where fantasy becomes reality”: how tourism forces made Brazil a sexual playground」



Bandyopadhyay, R. and Nascimento, K., *Journal of Sustainable Tourism*, 18(8), pp.933-949

ブラジルは「性に寛容な国」として観光地のイメージが根付き、女性はその象徴とされる。では、そのイメージはどのようにして構築されてきたのだろうか。それは、単なるマーケティングによるだけのものではない。帝国主義時代の植民地支配を受け、歴史、政策、信念、偏見、想像、態度など様々な要因が深く関係しているのだ。セックス・ツーリズムは一部の例外を除き、これまでの知的調査の対象とは見なされてこなかった。しかし、多様な問題をはらむこの種のツーリズム研究は、持続可能な発展に繋がるとし、本論文では、セックス・ツーリズムとしてのイメージ形成に至ったブラジルの歴史的、政治的、文化的背景を明らかにし、それらの要因と観光イメージの影響力について考察する。

(執筆 M1 上出圭太、鹿嶋良太)

<http://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/09669582.2010.497220#.UceeezvIat4>

Conferences, Seminars —世界各地の主な学会(CFP 情報)、セミナー—

●17/24 - 27 Annual ICHRIE Summer Conference (the International Council on Hotel, Restaurant, and Institutional Education) St. Louis, USA



概要：CHRIE の国際会議は、ホスピタリティ、観光、フードデザインについて、その教育と発展に関わる知識や考え、研究について情報交換を活発化することを目的とする。本会に参加することで、多様な分野のリーダーと交流することができ、研究成果についても意見交換することができる。

CFP：学会発表者の募集については既に終了したが、学会への参加は可能

<http://www.chrie.org/conferences/2013-annual-ichrie-summer-conference/index.aspx>

●10/17-19 ISTTE 2013 (International Society of Travel & Tourism Education) Detroit, USA



概要：本学会は、世界中の研究者と実践者に対し、多様なレベルの旅行、観光教育に関わるトピックを提供することを目標に、会員の様々なニーズに沿ったプログラムを実施している。

CFP：(参加申し込みは 9/15 まで) 7/15 までに申し込みの場合、早期割引が適用される。

<http://www.istte.org/conference.html>

●12/5-6 ATHE Annual Conference 2013(the Future of Tourism in Higher Education) Kent, UK



概要：今年は、ATHE の 20 周年を記念し、これまでの高等教育における観光の発展を振り返ると同時に、その将来について検討することを目的とする。そのため、高名な専門家による基調講演を行うとともに、議論や意見交換を重視したプログラムが予定されている。

CFP：発表要旨〆切：2013/10/01

<http://www.athe.org.uk/conference/>

Magazine —世界で発行されている観光雑誌を紹介—



Verge Magazine - Travel with purpose

ボランティア、留学、アドベンチャー、環境問題、社会問題、サステナビリティなどのカテゴリーで、旅行に関する話題、また読者が訪れた場所の状況や経験談なども満載されている。毎年写真コンテストも行われている。 <http://www.vergemagazine.com>

Topics —コラムツーリズムに関する世界のニュース—

院生、教職員からも受け付け中！

★富士山世界遺産登録 (6月24日付読売オンライン)

6月22日、ユネスコ世界遺産委員会で富士山が日本の17番目の世界遺産(文化13、自然4)、「文化遺産」として登録された。登録は本宮浅間神社(富士宮市)他神社8カ所、みそぎの場とされる富士五湖と忍野八海、山頂への4登山ルートなど25件の構成資産を含む。日本のシンボルでもあり、平成19年より暫定遺産であった富士山の、その宗教的、芸術的意義が認められた。世界遺産で山の宗教、精神的意義が認められた例としてはウルル(AU)やトンガリロ(NZ)がある。



一方、富士山には年間 360 万人程が訪れ、7、8 月の登山客はだけでも 35 万人が記録されている（2012 年、山梨県商工労働観光部）。登録後は、近年の「登山ブーム」にも相まって益々観光客が増える予想される。登録による観光客の激増、その環境への影響の例として、屋久島の遺産登録(1993)前の 1 万人から 9 万人への増加、環境劣化の例がある。静岡、山梨両県ともにマイカーによるアクセス規制を行い、ルートによってピーク時の 31～51 日間は駐車場から 5 合目までのシャトルバス運行となる。

★日仏、観光協力で共同声明－地方誘客強化、共同プロモも（6 月 9 日付 Travel Vision）

観光庁、日本政府観光局（JNTO）、フランス観光開発機構（ATF）は 6 月 7 日、日仏間観光協力に関する共同声明に調印した。共同声明では、日仏両国の双方向で観光客の往来の増加をはかるため、観光分野で協力し、訪問先の多様化や若者の旅行需要喚起、質の高い観光業の促進などに取り組んでいくとしている。ATF ゼネラルマネージャーのクリスチアン・マンテイ氏は、「パリ以外のフランスについて、力を入れてプロモーションをしている。日本にアピールできることは沢山ある」と訪問先の多様化に意欲を示した。 <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57829>（執筆 M1 鹿嶋良太）

★Cool Japan! アキバガイドニュース

「オタク外国人観光客向け」6 か国語対応 iPhone アプリ「Akihabara Guide」リリース

（2010 年 12 月 15 日 アキバ経済新聞）



Akihabara Guide は秋葉原を訪れている外国人に「困っていること」「実際行った店」「行きたい店」などを街頭インタビューし、「1～2 日の短い滞在時間でも中身の濃い秋葉原の『オタク文化』を体験してもらえる内容になるよう心がけて構成した」という。元祖・外国人オタク向け秋葉原ガイドブック（The Best Shops Of Akihabara）（2008 年 8 月に自費出版）を改訂し、Prime Style Corporation が多言語対応 iPhone アプリ化したもの。掲載許可を得た「厳選店舗」30 店舗の情報を収録している。

<http://akiba.keizai.biz/headline/2233/>

（執筆 M1 鹿嶋良太）

2013年3月17日リリース！秋葉原英語案内マップ（2013 年 3 月 19 日 アキバ経済新聞）



新東海旅行（台東区）は 3 月 17 日から「秋葉原英語案内マップ」の設置型無料配布を始めた。同社が 2009 年から催行してきた「Akibaland Tours（アキバランドツアーズ）」の一環として秋葉原エリア内の商業店舗を紹介する観光マップを、外国人に分かりやすく伝えられるよう英語で制作されている。マップ掲載店舗は 12 ジャンル、計約 250 店舗。設置場所は、国内ツーリストインフォメーションセンター、外貨両替ほか、台湾（台北）、フランス（パリ）、イギリス（エジンバラ）など海外でも配布する。

<http://akiba.keizai.biz/headline/2984/>

★10月のエコツーリズム国際大会 大山周辺コースを公開（6 月 12 日 日本海新聞）



10 月に鳥取県で開催される「エコツーリズム国際大会」の実行委員会が体験コースの一部を報道機関に公開し、関係者を含む約 20 人が大山でのダウンヒルサイクリングなどを楽しんだ。

（執筆 M1 上出圭太）

<http://www.nnn.co.jp/news/130612/20130612005.html>

★車の旅を支援する多次元プレビュー機能、事前に行き先が見える（6 月 10 日 MSN トラベル）



米国を車で旅する人のための情報提供ウェブサイト myscenicdrives が、ドライバーが運転する先の道路を前もって多次元の仮想画像で確認できる「ロードプレビュー（Road Preview）」機能を立ち上げた。

（執筆 M1 上出圭太）

<http://extras.jp.msn.com/travel/article.aspx?post=8dc7c6a8-c42e-4ddf-a9a7-41ff2d238174>

<http://www.myscenicdrives.com/>

★Wakayama? Wakawhat? Wakawhere?（6 月 25 日 CNN Travel）



米 CNN の観光情報サイト「CNN トラベル」で和歌山県が取り上げられた。記事では、「和歌山を日本の穴場にする 10 の理由」という見出しで、「日本一美味しいラーメンが食べられる」、「マグロの解体方法を学べる」など、和歌山の魅力を紹介している。

<http://travel.cnn.com/wakayama>

和歌山大学 観光学部 観光教育研究センター

Location: 観光学部研究棟 208

Contact us: tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp

<http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/tourism-er.html>